



ニュースレター

SDM NEWS



SDM公開講座：利己と利他について説明する小林教授

10

2013年 月号

行事予定

2013年10月26日(土)
SDM研究科5周年イベント(特別講演会ほか)
@日吉キャンパス協生館
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/10/26-122508.html>
要事前登録 無料

2013年10月30日(水)
慶應SDM研究科講演会および入学説明会
@三田キャンパス
要事前登録 無料

2013年11月5日(火)～11月7日(木)
11月25日(月)～11月27日(水)
第5回 プロジェクト・マネジャー能力強化研修
@日吉キャンパス協生館
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/11/05-132046.html>
要事前登録 有料

2013年11月8日(金)
慶應SDM公開講座「空海とソーシャルデザイン」
@日吉キャンパス
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/08/28-173441.html>
要事前登録 無料

2013年11月10日(日)
慶應イノベティブデザインスクール2013年度
第3回公開ワークショップ「イノベーション創出のためのワークショップをデザインする」
@日吉キャンパス
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/10/15-102107.html>
要事前登録

2013年11月29日(金)
慶應SDM公開講座「新たな時代の新たなものがたり
エコロジー(宇宙船地球号、ガイア)を超えて・・・
コスモロジー社会とはいかなる世界なのか・・・」
@日吉キャンパス
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/08/28-175326.html>
要事前登録 無料

慶應義塾大学イベントカレンダーをご利用ください。

http://www.keio.ac.jp/ia/event/201310/201310_index.html

通算59号 2013年10月発行

SDM
System Design and Management

専任教員からのメッセージ

システムを考えて革新に導く。



SDM研究科教授 西村秀和

2013年9月6日に開催しました「超」モノづくりカンファレンス「モノづくり産業にとってイノベーションをもたらすモデルベース開発とは」(共催:日刊工業新聞社)には、多方面から大勢の方々にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。ここに厚く御礼申し上げます。産業界をはじめとして多くの方々からモデルベースシステムズエンジニアリングが注目されていることを実感いたしました。慶應SDMではより一層モデルベースアプローチに力を入れて教育と研究を実践して行く必要があると考えます。

「システムを考える=Think Systems,」には、全体と部分の関係性を図的に表現(モデル化)することが重要です。そして、システムの振る舞いや構造を、抽象度を上げて考えることで革新に導くことができます。慶應SDMでは、人と社会と技術が複雑に絡み合うSystem of Systemsのデザインとマネジメントに、このアプローチで果敢に挑戦し続けています。

最近のニュース

TOPIC

1

シンポジウム「Sustainable Happinessへのアプローチ」開催



松井直人(北海道大学大学院客員教授、元国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当))「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」



パネルディスカッション「ユニバーサルビレッジの展開方向と検討課題」

SDM研究所モビリティシステムマネジメントセンター(代表 西村秀和教授)主催のシンポジウム「Sustainable Happinessへのアプローチ」が2013年10月4日(金)、協生館CDFルームにて公益社団法人日本交通計画協会などの後援を得て開催された。シンポジウムでは、<Sustainable Happiness>をキーワードに2つの基調講演と3つの報告がなされ、今後、求められる都市像とそこで実現されるべき生活像を考えながら、ICTを中心とした都市社会の革新可能性や課題について議論された。パネルディスカッションでは約60名の参加者を含め、様々な視点から意見交換を行うことができた。また、2014年6月にはボストンにてMIT主催による国際会議 Universal Village Conferenceが開催予定で、日本からのオーガナイズドセッションや講演発表が期待されていることがアナウンスされた。

TOPIC 2 SDM公開講座「公共哲学×システムデザイン・マネジメント コミュニタリアニズムと協創」 開催

2013年10月6日(日)に小林正弥特別招聘教授と前野隆司研究科委員長による慶應SDM公開講座 第3回白熱対談「公共哲学×システムデザイン・マネジメント コミュニタリアニズムと協創」が行われた。両教授からの講演の後、今回は白熱教室型の対話も実施。様々な事例への受講者の意見が飛び交う中でリパタリアニズム、リベラリズム、コミュニタリアニズムの違いや、公共哲学とSDM学の共通点・相違点が明確化され、有益な講座となった。今後は2013年12月8日に「幸福」、2014年2月9日に「平和」についての白熱対談を行う予定。



白熱教室を行う小林教授

TOPIC 3 環境都市デザインに関する国際シンポジウム～横浜と北欧の環境未来都市への取り組み～



質疑応答の様子

慶應SDMマネジメントデザインセンターは、2013年9月5日(木)に、横浜市横浜スマートシティプロジェクト(YSCP^{*1})およびフィンランドの持続可能都市プロジェクトAIDA^{*2}の協力を得て、環境未来都市に関するシンポジウムを開催した。企業関係者を中心に50名を超える参加者およびフィンランドメンバー10名を得て、活発な意見交換が行われた。横浜市温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事 信時正人氏から、横浜市が直面する課題と横浜グリーンバレーや次世代郊外街づくりなどの構想が紹介された。続いてフィンランドアールト大学Prof. Seppo Junnilaから、都市化と地球温暖化対策との関係について研究結果が紹介された。また、本研究科の中野冠教授から、先進都市デザインラボに行われている持続可能な都市デザインの研究成果が紹介された。

*1 YSCP – Yokohama Smart City Project *2 AIDA - Adaptive and Innovative Development Process for Sustainable Area

TOPIC 4 慶應SDM-スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH Zurich) “Interactive Seminar 2013” を開催



開催ポスター

2013年9月10日(火)、慶應SDMの協定校であるETH Zurich D-MTEC(Department of Management, Technology and Economics)のExecutive MBAコース学生約25名がチルキー教授と共に来日し、「Joint Interactive Seminar 2013」を受講した。本



セミナー風景

研究科の中野冠教授、佐々木正一教授および株式会社デンソーの技術者による講演の後、活発な議論が行われた。講演テーマは、日本型開発プロジェクト、コンカレントエンジニアリング、および生産システムのリーンコンセプトとリスクマネジメントについて。海外大学からトヨ

タ自動車などの会社訪問ツアーは頻繁に行われているが、企業経験を持つ教員がそろって慶應SDMでの教育と組み合わせることが有効と考えている。なお本セミナーは、慶應SDMマネジメントデザインセンターが推進するプログラムの一環として開催されたものである。

ラボ・センター紹介

ビジネスエンジニアングラボ

(Business Engineering Research Laboratory)

担当教員: 中野冠教授

研究領域

持続可能な社会を実現するための、社会と経済と環境に関わるシステム問題(図1)を扱っています。政策とビジネスと技術進歩を包括的に考慮してシステム設計し、シミュレーションを用いて定量的に分析するSocio-technical-economical methodologyを開発しています。研究室メンバの多くは、グローバルこと・ものづくり研究ラボと先進都市デザインラボにも参加しています。

自動車研究

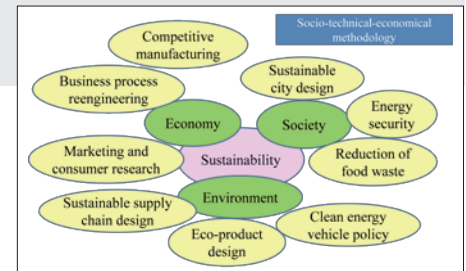
図2のように自動車社会の課題を要素分解して、都市構造、環境、エネルギー、資源、サプライチェーンなどの要素について研究を行っています。短期的ビジネスというよりも中長期的な政策と企業の技術開発戦略を研究しています。環境、エネルギー・資源の研究では、日本国内だけでなく、中国、ヨーロッパ、南米、シンガポール、インドネシア、マレーシア、南アフリカなど多様な国々を研究してきました。

国際性

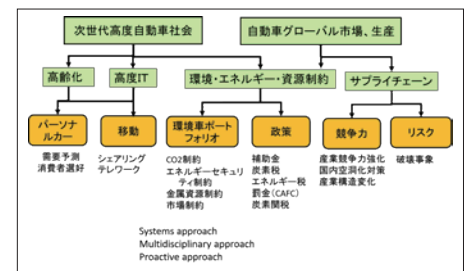
約25名の学生メンバのうち、企業経験を持つ学生の割合は約50%、理工学系学生の割合は約50%、留学生の割合は約50%という多様性を有しています。2013年10月現在の在籍留学生は、アメリカ、フランス、デンマーク、ポーランド、サウジアラビア、インドネシア、台湾、中国、メキシコと多岐にわたります。この1年間、学生交換協定によって米国MIT, Purdue大学, 英国Cambridge大学, スイスETH Zurich, オランダDelft工科大学から8名の留学生および研究生が在籍し、レベルの高い議論が行われてきました(写真)。

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/nakanolab/>

(図1) 主な研究分野



(図2) 自動車研究



ゼミ風景

イノベティブデザインセンター

(Innovative Design Center)

担当教員: 前野隆司教授 白坂成功准教授 保井俊之特別招聘教授 神武直彦准教授 石橋金徳特任助教 他

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/idc/>

研究領域

イノベティブデザインセンターでは、「マルチステークホルダーの協働に基づくイノベーション創出」に関する研究およびその教育に関する研究を行っています。すなわち、慶應SDM修士課程必修科目「デザインプロジェクト」における国際連携グループプロジェクト教育や、外部向けのグループプロジェクトを企画・運営するとともに、それらの有効性検証や実践的発展を担っています。昨年度から開始した外部向けワークショップ対象者は延べ6000人を超えました。今年度は、文部科学省委託事業「イノベーション対話ツールの開発」により、全国20カ所以上の大学をまわり、研究者、企業、市民の対話促進を行っています。DBJ(日本政策投資銀行)イノベーションハブ、慶應丸の内シティーキャンパス等との連携も積極的に行っています。今後も、社会・事業体におけるイノベーションを推進するために中心的な役割を果たしていく所存です。



公開ワークショップKiDS (Keio Innovative Design School) 後の集合写真



秋合宿においてシステム×デザイン思考のワークショップを行っている様子



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management